地質情報管理士資格検定試験に合格して

基礎地盤コンサルタンツ株式会社　星野　笑美子

（1）はじめに

このたび令和７年度の地質情報管理士の試験に合格しました。合格に至った受験の体験談を紹介させていただきます。

（2）教材について

全地連の地質情報管理士の受験案内ページから「過去問題」と「試験対策用テキスト」がダウンロードできます。この試験対策用テキストは、内容をすべて理解していれば満点近い点数が取れるようなものになっています。今回は、これ以外の資料は用意しませんでした。

（3）四肢択一式問題の対策

①情報技術、電子情報全般に関する問題

まず過去問題を眺めてどういった設問があるか確認し、過去問題を解くよりもテキストを読み込む方が良いと判断し、取り組み始めました。問題文に、あまり馴染みがない単語や聞いたことはあるが正しい定義を理解していない単語が多くあったためです。

カタカナの用語やアルファベットの略称が覚えにくく、繰り返し読んで学習しました。テキストだけで理解が難しい単語は、インターネットで調べるようにしました。

②地盤情報の取扱いに関する問題

この分野は、日常業務で電子納品やBIM/CIMに携わる際に、それぞれの実施要領などを熟読していました。そのため学習を始める時点で一定の知識がありました。そこで、テキストを一読した後は、過去問題を解きながら不足する知識をテキストに戻って確認する方法で学習しました。

（4）論述式問題の対策

必須問題は、テキストのある部分に関して400字で概要を記述するというのが基本の形です。

一方で選択問題は、テキストの内容に加えて一般的な知識や地質調査の知識も踏まえて、自身の考えを記述するものです。

まずは過去問題を確認し、出題しやすい部分のテキストをしっかり理解するように繰り返し読みました。選択問題の地質調査等の知識に関しては、既に持っているもので対応可能と考え、テキストの馴染みの薄い分野の学習に注力しました。

回答案の作成では、まず問題に対して過不足なくキーワードを列挙するようにしました。そして400文字という限られた中で、重要な部分をしっかり説明できるように各キーワードの説明文の割合を事前に考えてから記述しました。また、最後に読みやすい文章になっているかを確認するようにしました。

（5）おわりに

地質情報管理士の受験では、電子納品やBIM/CIMを含む日常業務の経験やその際に得た知識が大きな助けになりました。また、こういった機会に理解を深めることで、今後の業務に役立つと改めて感じました。

今回は私の勉強方法を紹介させていただきましたが、これから受験する方のご参考になれば幸いです。